

千葉県安房郡鋸南町視察報告

一般社団法人 建物診断研究所

現地視察日 令和元年10月29日

目次

- 1 鋸南町の概要
- 2 台風15号による被害状況
- 3 鋸南町の被害状況
- 4 鋸南町の視察時写真
- 5 被害地の課題と問題点
- 6 考 察

1. 鋸南町概要

1. 立地

千葉県房総半島南西部、千葉市から約60km、東京都の都心から60～70km圏内の位置にある。東京都や神奈川県からは東京湾アクアラインを利用した場合が最短の移動距離となる。都市雇用圏における館山市圏に含まれており、館山市への通勤率は10.4%、花の栽培と酪農が盛んであり、他に漁業・水産加工業がある。特に三大水仙群生地としてよく知られている。現在の人口は7,700人と少子化によりさらに減少し、そのうち47%が高齢化している。
2. 市域

総面積45.19 k m²
3. 人口

平成27年国勢調査より前回調査からの人口増減は10.37%減の8,022人であり、千葉県下54市町村の中で最も減少率が高い。現在の人口は7,700人と少子化によりさらに減少し、そのうち47%が高齢化している。

2. 台風15号による被害状況

1. 台風概要

台風15号は関東を中心に9月9日の未明から明け方にかけて記録的な暴風と非常に激しい雨をもたらした。今回の台風は比較的コンパクトなため、荒天の期間は短かったものの深夜の首都圏に猛威を振るった。

最大瞬間風速は千葉市で57.5m、木更津市で49m、成田空港で45.8mを観測し観測史上1位となり記録的な暴風が吹き荒れ、倒木・電柱倒壊・屋根や外壁が吹き飛ぶと言う被害が発生しました。台風本体の活発な雨雲が首都圏に懸り1時間雨量は天城山で109mm、鋸南町で70mm、羽田空港で64.5mmと何れも9月の観測史上1位を更新し、関東に上陸した台風では過去最強クラスの台風となった。

2. ライフラインの影響

9月9日 7:50時点の停電は約934,500戸(9月13日経産省情報 約194,800戸)にのぼり、停電の主な原因は暴風雨・飛来物による配電設備の故障、電柱・送電配線塔の倒壊、メガソーラー太陽光発電所のパネル破損等により発生。

給水設備は停電の影響を受け断水状態に陥った(9月13日厚労省情報 千葉県で約137,954戸が断水)。

観測史上1位を更新した雨量により県道及び林道で一部に土砂崩壊が発生した。

交通機関も東海道新幹線の上下線100本の運休、首都圏の9日始発から午前10時頃まで運転が見合わされ、羽田や成田空港から発着する国内線・国際線の130便が欠航となった。

3. 鋸南町の被害状況

1. 15号台風後の状況（鋸南町資料及び情報より）

記録的な暴風により、倒木・電柱倒壊による停電、屋根や外壁が風圧により吹き飛ばすという被害、停電の影響を受けての断水状態が発生したが、停電は9日に発生し23日に復旧した。

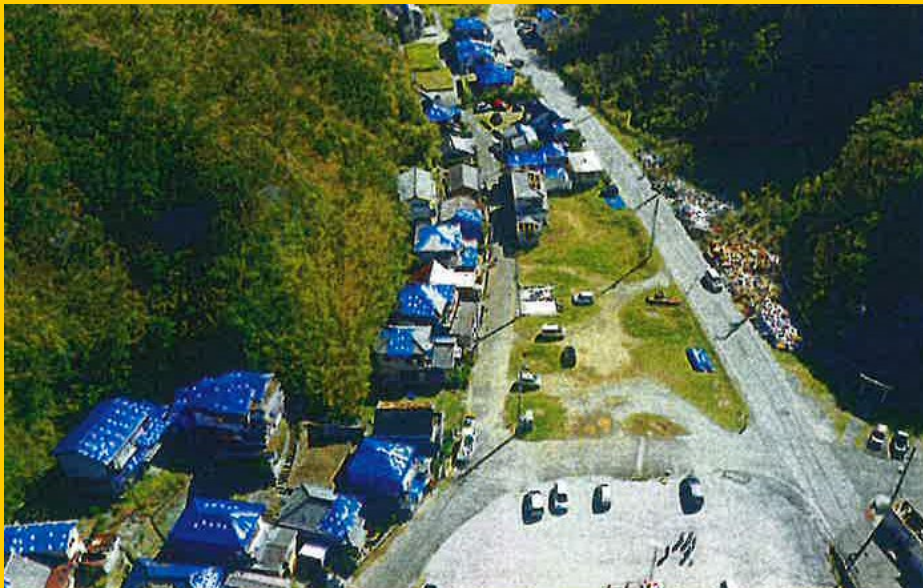
記録的な雨量による河川の氾濫、浸水は無かったが、一部に土砂崩壊が発生した。

漁港では強風・高波により漁船が横転した。

7,250戸を調査した結果70%が被災していた。15・19号台風とも人災は無かったが、屋根普及作業で2名が亡くなった。被災者は人口7,700人の住民に対して1,000人の住民が避難所へ避難した。

家屋の崩壊で住居を無くした住民が16軒、屋根の雨対策としてのブルーシートは14,000枚～15,000枚を被災家庭に配った。

被災家屋の復旧は自衛隊が300軒を対応し、建設業協会も協力し1部屋を生活できる様に片付け・整理し仮住まいとして生活している。家屋の崩壊等で住むことができない人は親戚やアパートに居住している。



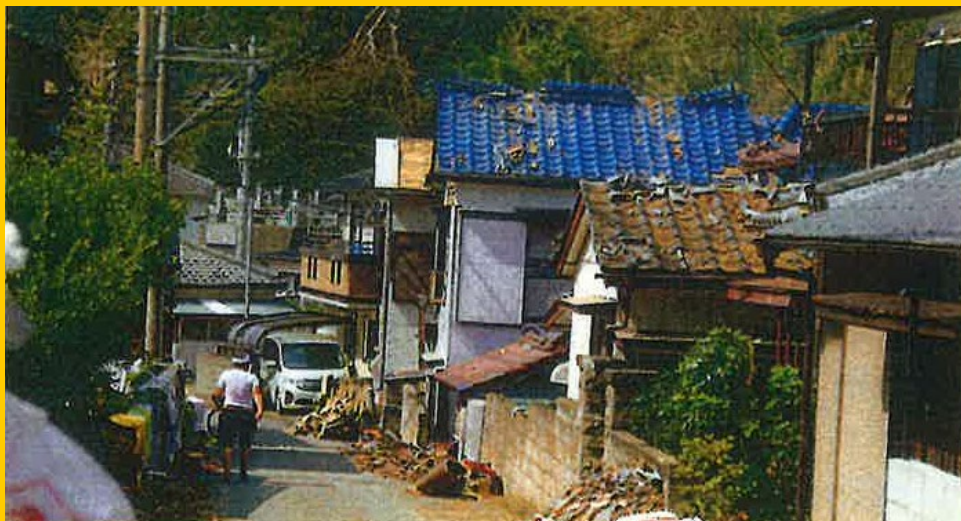
岩井袋 上空からの写真



仁浜 被災家屋

3. 鋸南町の被害状況

1. 15号台風後の状況（鋸南町資料より）



岩井袋地区 住宅被害状況



下佐久間 白銀地区 電柱倒壊



役場本庁舎 正面ロビー天井剥落



B&G海洋センター プール外壁・天井破損

3. 鋸南町の被害状況

1. 15号台風後の状況（鋸南町資料より）



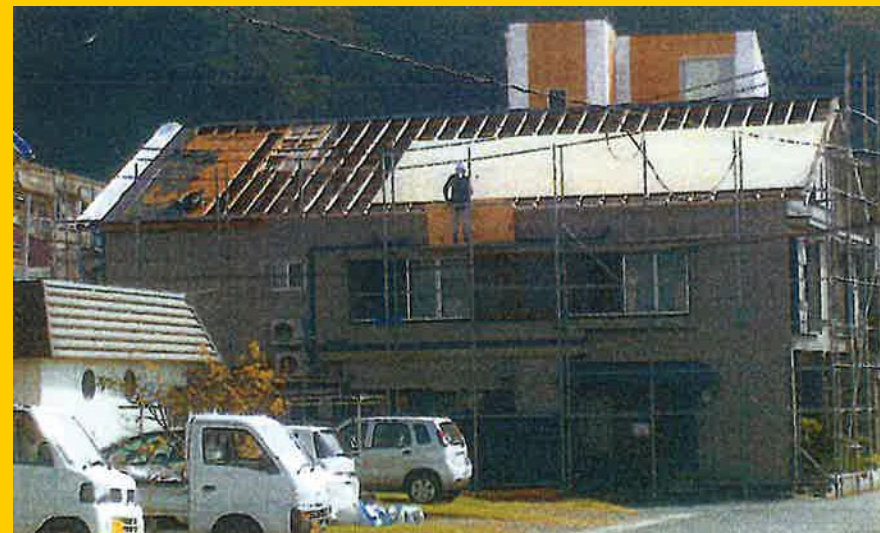
消防第二分団詰所 屋根破損



旧下佐久間小学校 普通教室屋根・外壁破損



旧幼稚園 遊戯室屋根破損



竜島 お宿ひるた 屋根破損

3. 鋸南町の被害状況

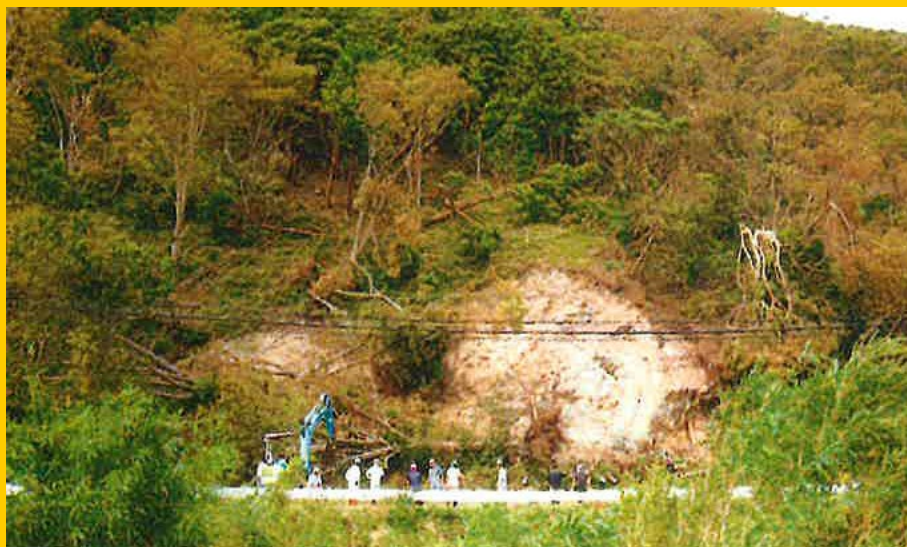
1. 15号台風後の状況（鋸南町資料より）



第六地区 ビニールハウス倒壊



下佐久間 本郷地区 ビニールハウス倒壊



保田県道 土砂崩れ



小保田神社 大杉倒木

3. 鋸南町の被害状況

1. 15号台風後の状況（鋸南町資料より）



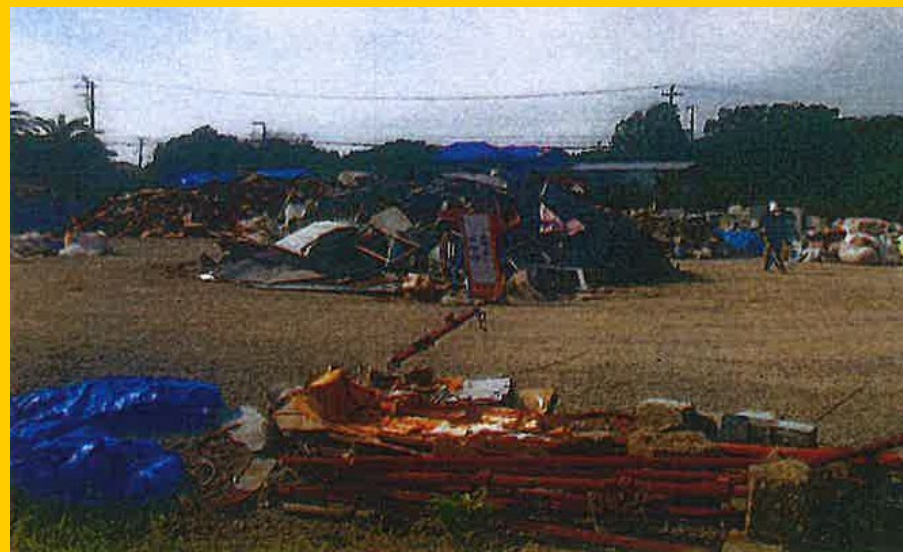
畜産施設 屋根・外壁破損



市井原 杉林倒木



旧佐久間小学校 被災ゴミ収集



すこやか前 被災ゴミ収集

4. 鋸南町の視察時写真



鋸南町への義援金寄付と白石町長・平野総務企画課長との面談



鋸南町役場の窓ガラスが多く破損（一部は修繕済み）



鋸南町役場脇の建物、1階天井崩落



民家の屋根瓦破損

4. 鋸南町の視察時写真



民家の屋根が吹き飛んでいる



民家の屋根瓦が破損



民家の屋根瓦が破損(海側が妻側の建物は棟や破風が被害を受けている)



改修を始めている1軒の民家があった

4. 鋸南町の視察時写真



漁港近く民家の屋根が吹き飛んでいる



漁港付近の民家の屋根瓦が破損



花栽培の温室が崩壊



漁港からの道路沿い民家にの屋根瓦破損被害が多く見られた

5. 被災地の課題と問題点

1. 問題点

今回の台風15号による鋸南町の被害は暴風による住居屋根や外壁が吹き飛ばす災害が多く見られた。被害は漁港からの道路に沿った建物に多く見られ、古い建物や海からの風向きに対して桁行方向に(建物の長手方向)建てられた建物に被害が多く見受けられた。最近の台風は太平洋側の日本近海の海水温の上昇により日本に近づくにつれて巨大化し強風・大雨を伴った台風へと発達し上陸し大災害を発生させている。

発生したゴミは指定の2ヶ所に集積し町内は片付いているが、焼却処分を待たせている状況で、全部の焼却まで1年は掛かる予定。

自衛隊隊員からの一言で、暴風災害は水害より被害が広範囲に渡る事と修復作業に専門の職人が必要な為、復旧に手間がかかる。

屋根や外壁の修復は専門の職人でなければ修復作業は難しい。

停電による食料品等の不足は全国からの支援物資を受け、問題は起きなかった。

家屋修復の資材(瓦・シャッター・ガラス)が不足し修復作業ができない。

2. 課題

家屋の屋根・外壁の多くが破損また、電柱の倒壊被害を受けており強度の見直しが必要である。

家屋の復旧をする大工・瓦工の職人が不足しており、県内・広島・名古屋等からの支援はあるが修繕に取り掛かれる状況に無い。

修繕費用の見積も物件数が多く、対応しきれない状況にある。

倒木や電柱倒壊により停電が発生し、その復旧に時間がかかった。

不足復旧資材については全国レベルでの出荷調整見直し施策等が必要である。

6. 考 察

15号台風は暴風と記録的な大雨による災害、19号台風は大雨により河川の堤防決壊により多くの建物や車両等が浸水し大きな被害を受けました。

15号台風は荒天の時間が短かったが暴風と大雨により首都圏に猛威を振るった。

耐風の通過速度が遅く暴風や大雨が長く続いた場合、より大きな被害が発生したと考えられ、気候の変動(地球温暖化と海水温の上昇)により台風の大型化が今後も続くものと想定される。

屋根・外壁の構造や強度の見直し、また電柱の倒壊を防ぐ為の耐風圧強度40mの見直し、配電線の地中埋設化促進等の計画推進が必要と考えられる。

民家の屋根瓦が多く破損している(海側が妻側の建物は棟や破風が多くの被害を受けている)。風害を受けにくい方向への建物設計の見直しや建物強度の見直し、瓦の取付強度を増す工法の開発と施工促進。

経済産業省の災害支援ネットワークで相模原市から支援を受け助かっている。

災害復旧対応の職人確保のネットワーク構築等が必要である。

屋根破損個所の復旧に際し、大工・瓦工の2職種が必要となり、職人不足の折の早期復旧に大きな障害となっている。多能工職人の育成が必要である。

修繕費用の見積も物件数が多く、対応しきれない状況については定年退職者等OBを活用できるネットワーク構築等が必要である。

茨城県の境町では「境町水害ハザードマップ」を作成し住民に配布すると共に小学校で授業に取入れ、命を守るために最も注意しなければならないことを認識させている。